



ななつかの風～

畜産技術センターニュース

発行事務局
 ● 広島県立総合技術研究所
 畜産技術センター技術支援部
 〒727-0023
 庄原市七塚町584番地
 TEL 0824-74-0331
 FAX 0824-74-1586

●平成27年度試験研究課題！

平成27年度に実施する試験研究課題が確定し、内容はつぎの表のとおりです。

本年度から開始する課題、完了する課題、また、成果の技術移転を行う研究課題などがあります。本年度実施の課題のうち、県単課題と外部資金（競争的試験研究）の予算割合は、後者が60%強を占めており、当センターの研究員の研究開発の実力が全国に認められた結果と評価しています。

成果獲得に向けて、研究員一同、邁進します！

平成27年度の研究課題と内容概要

課題名	研究種別	年度	内容概略
画期的WCS用稲「たちすずか」の特性を活用した微細断収穫調製・給与体系の開発実証	競争的資金研究	H25～27	圃場から効率的に運搬、貯蔵できる微細断飼料イネ「たちすずか」の適正な切断長を検討し、乳牛、肉牛へのTMR調製・給与技術を確認する。
九州における飼料生産組織、TMRセンター、子牛育成センターが連携する地域分業化大規模肉用牛繁殖経営の実証	競争的資金研究	H25～27	ロールベールの水分計測が可能な簡易水分測定機器の開発をする。
難培養性ホモ発酵型乳酸菌を用いた発酵飼料の好気的変敗及びカビ防止技術の開発	競争的資金研究	H26～28	新たに見出した難培養性ホモ発酵型乳酸菌を用いて、自給粗飼料の貯蔵における好気的変敗とカビ発生の抑制を図る。
栄養生理機能マルチセンシングによる搾乳ロボットを用いた精密飼養管理システムの開発	競争的資金研究	H27	搾乳ロボットを利用した牛群管理で、搾乳ロボットに適合した飼料給与指標を解明し、高精度な飼養管理システムを開発する。
繁殖成績の向上や栄養管理の高度化のための次世代精密家畜個体管理システムの開発	競争的資金研究	H27～30	開発センサによる暑熱の影響把握と授精適期を解明し、効率的繁殖技術を開発する。
飼料用米の給与による畜産物の差別化技術及び家畜の健全性向上技術の開発	競争的資金研究	H27～31	籾ソフトグレインサイレージ(SGS)の安定的な長期貯蔵が可能な高密度調製技術と、特徴ある和牛肉生産のための給与技術を開発する。
和牛のミオグロビン含量を指標とした肉色に関するゲノム育種価の推定	競争的資金研究	H27	牛肉の肉色に関するゲノム育種価の評価精度を実用可能なレベルに向上し、肉色に優れた種雄牛個体を効率的に選抜できる条件を整備する。
特殊LED照明が県内多くの産業に波及するための研究	戦略開発研究	H25～27	LED照明による家畜生産性に及ぼす影響を把握する。
ダイレクト移植の受胎率を向上させる新たな技術開発	県単開発研究	H25～28	ダイレクト移植可能な受精卵のガラス化保存法と簡便・容易なガラス化胚移植技術を開発する。
高発生能卵作出可能な個別化対応型体外成熟技術の開発	県単事前研究	H27	採取した体外受精卵が斉一性をもって作出可能な技術を開発する。
広島県産牛肉のうま味向上に関する研究	県単事前研究	H27	次世代差別化要素を持った牛づくりを目標とし、飼養と遺伝管理によるうま味成分の向上の技術開発を行う。
和牛用TMR生産・利用技術の普及移転	県単成果移転促進事業	H27	県産和牛の出荷頭数の増加と飼料コスト低減にむけ技術開発を行ってきたTMR調製・給与技術について、和牛用TMRセンターの設立にむけた技術移転を行う。

●県立広島大学の庄原キャンパスフィールド科学研修と 広島キャンパスフィールドワーク！

6/16、6/23の両日、県立広島大学の庄原キャンパスから学生さん総勢106名が、フィールド科学研修で、畜技センターを視察されました。畜技センターの前身である七塚原種牛牧場設立の歴史やポプラ並木植樹の意味などの説明を聞き、衛生対策を行い、家畜が飼養されるエリアに入りました。乳牛ゾーンでは、搾乳ロボットによる自動搾乳の様子、種雄牛ゾーンでは、当センター期待の星の「3柴沖茂」の精液採取の様子など見学し、研究員が説明しました。初めて目にする光景であり、「おーっ」という歓声が上がっていました。

また、7/28に、広島キャンパスからも42名の学生さんが、学生の畜産技術に関する理解の深化を目的として、「食品衛生学実験」のフィールドワークの一環で施設見学で訪問されました。いずれも、大きな乳牛、和牛を目にすることが初めてで、女子学生さんの華やかな歓声が聞こえ、活発な質問等も受けました。「審査会で選ばれた3柴沖茂はイケメンなんじゃ！へえ〜」。帰り際に、「牛乳を飲みます！」、「広島県産和牛を食べてみます！」という頼もしい発言もあり、食に関する情報提供は大切であると実感しました。



興味津々の乳牛の前を通過して！



フィステル装着牛の説明を熱心に聞くみなさん！



イケメン「3柴沖茂」の前で歓声が！



正確な搾乳ロボットの動きに身を乗り出して！



精液採取の現場に目を見開くみなさん！

●ポプラ並木の4月春の雪！

みなさん、ポプラの樹の根元にある雪のようなものは何かわかりますか？

ポプラは3月～4月に花を咲かせる落葉高木です。雌雄異株であり、高さは15～25mになります。原産地はヨーロッパ。花は目立たず、しかも高い位置につけるため咲いても気づきにくいです。花が終わってすぐ、房状で綿毛つきの種子をつけ、大量の種子が風に飛ばされて空を舞います。それはそれは幻想的です。そして、地面は白いじゅうたんとなります。

明治時代中頃から、ヨーロッパ原産のギンドロ(ウラジロハコヤナギ)*Populus alba*、セイヨウハコヤナギ*Populus nigra var. italica*などが、ポプラとして親しまれています。

今はすでに夏真っ盛りで、時遅しですが、ぜひ、春にチャンスがあれば、七塚を訪問下さい。



ポプラ並木の春の雪

●イタリアンライグラスの刈取と収穫！



イタリアンライグラスの刈取風景

牧草のイタリアンライグラスは、4月前半、日照不足で生育が停滞していましたが、4月下旬以降の日照量が平年比で143%（庄原調べ）となり、生育が回復しました。

しかし、この天候回復で生育が進み過ぎ、適期収穫が追いつかず、やや品質低下という状況でしたが、雨にあたることもなく乾草調製ができました。

総合的には、前年対比では116%の量が確保でき、まずまずの収穫結果でした。

●畜産技術センターでの研修会開催！

5～6月に、研修会が相次いで開催されています。

①農業普及指導員研修(新任者, 2年目研修)(6/10, 18)

普及指導員の畜産に関する研修が行われました。畜技センターの概要、各研究部の研究最前線について、担当研究員

が濃密に説明し、畜舎や実験室で実際の給与や受精卵の取扱いなどを見学しました。

②家畜診療所初任者研修(6/17)

農家の保有する家畜診療に携わる広島県農業共済組合連合会家畜診療所の新任者の方が、畜技センターの研究と家畜生産との関係についての研修に参加されました。

③和牛審査研修(6/22)

各地域の畜産事務所管内で、家畜審査の実務を行う職員が、和牛審査研修を行いました。

編集後記：新年度が始まりすでに5ヶ月目となります。そして、暑い夏を迎えています。最近の天候は極端であり、農業関係者は生産で気をもむことが多くなっています。平穏な年こそ求めるところです。・・・SS